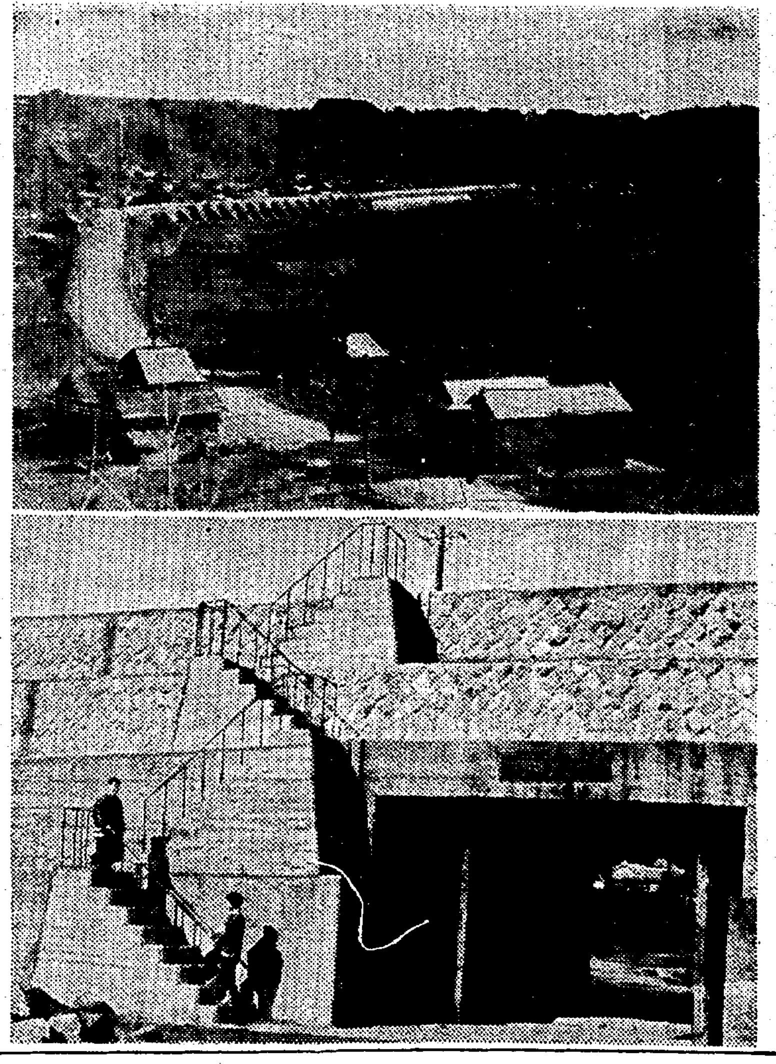
城壁の町田老今月完成

三千人の生命守る

どんな津波でも大丈夫

三日は三陸沿岸の津波二十五周年記念日、各地で警報伝達や避難訓練を行って当時をしのび〝災害は忘れたころにやってくる〟に備えて覚悟を新たにさせようとしているが、下閉伊郡田老町では、日本では初めて、世界でも珍しいとされている町を取り巻く防波堤がようやくこの三月に完成し、町民は二十五年ぶりで津波ノイローゼから解放され、安心した生活が過ごせると喜びにひたっている



〔写真❶は完成した防波堤に囲まれた田老町❷は見張りに活躍の女消防手。トンネルになっているのは通路みぞ〕

田老町は湾がせまく外洋に直面しているため、津波の災害は三陸一強く受け、全町全滅の悲運にしばしば襲われた。明治二十九年五月二十九日の津波は町ぐるみ流失し死者千六百人で生存者わずか三四十人であった。昭和八年三月三日には人家流失五百戸で、残ったのは三戸、死者九百十人、一家全滅六十六世帯という惨状を呈した。町を津波からまもるためには高い防波堤を築くより方法が無いというので、昭和九年三月その工事が始められた。大平より游砂利まで南から北にかけて延長三百五十㍍、敷幅最大二十五㍍、高さ七・六㍍、上幅三㍍、天端高九・九㍍の設計で県直営工事として着手された。

七年目、町をまもる城壁がようやくその形を現わしかけた昭和十五年十二月、日支事変の影響を受けて工事は打切りとなった。延二百六十㍍が完成したばかりで、四百八十㍍が未完成、五百十㍍が未着工のまま放置され、町民は不安な気持のまま太平洋戦争協力に追いやられてしまった。

幸いに大きな津波がくることなく終戦となり、国家再建が着々行われはじめた。地元はじめ県の熱心な再開運動が功を奏し、昭和二十九年復活して工事が再び始められた。昭和八年の津波は八㍍、明治二十九年は十㍍の高さの波に襲われたというので、七㍍の高さではだめだと、戦前完成の分にも補強が施され、全部十㍍の高さのがん丈な防浪の城壁が完成した。

総工費を今の金額に見積れば一億一千万円の大工事で、中国の古都を思わせる城壁に囲まれた町が出現した。この城壁内には現在五百七十戸二千九百人が住み、学校二をはじめ諸官公署、病院、保育所の公共建物など七億五千万円の財産がまもられて人心もようやく安定することになった。

久保町長の話 二十五年がかりでようやく防波堤が完成することになり、ほっとしています。仏教から言えば法要は二十七年と三十三年なので、あすの記念日は避難と伝達訓練、すなわち一般住民の精神訓練と消防団の伝達訓練に主眼を置いてやります。防波堤が出来たからとて自然の災害は底知れぬものですから、手放しの安心は禁物です。万一の場合波を防いで家財の流失をとめることが出来ればよいと思っています。

近代警察の威容

盛岡警察署や通信出張所など

きょう落成祝賀会

総工費三千二百七十余万円の工費で完成した盛岡署の新庁舎をはじめ、岩手県通信出張所、機動隊宿舎、西岳無線中継所の落成記念祝賀会が一日午前十時から新装成った盛岡署三階の会議室で盛大に行われた。

祝賀式には三角県警本部長、紺野盛岡署長をはじめ東北管区警察局など警察関係者約二百人に阿部知事、山本盛岡市長など来賓約百人が列席、三角本部長のあいさつに次いで阿部知事はじめ来賓から祝辞が次々にのべられ、建築に当った佐々木組、清水建設、大丸建設、東北電気工事、古川電気、沖電気各業者に三角本部長から感謝状がおくられた。

三十三年度から五ヵ年計画で機動力の強化をはかり、合理的な捜査システムを築く県警察としては今度の庁舎、無線中継所の落成はその第一段階の基礎固めともなったわけで、中でも警察無線電報と模写伝送電信などを取り扱っている通信出張所の施設完備、県北の真空地帯に無線連絡が可能となった西岳中継所の実現は五ヵ年計画で二戸、久慈、岩泉各署との無線連絡網が予定され警察通信網に新威力を加えるものとして期待されている。

▽**盛岡署** 昨年二月二十五日工費三千二百七十余万円で一関市の佐々木組が請負い同年十二月二十七日完工した。市内内丸市役所前に建てられた庁舎は鉄筋コンクリート三階建。「ガラスの建物」ともいえる近代的な明るい庁舎で一階は署長室、総務、警ら交通、宿直、指令室、二階は捜査、鑑識、留置場、それに九つの取調室、三階は会議室、警備、防犯、電話交換室となっている。このほか二階木造建の道場が庁舎裏側に建ち、その横には八十坪の車庫と倉庫が並んで建てられた。

▽**通信出張所** 工費約一千四百三十七万円で盛岡市内丸日赤岩手支部の向かいに昨年十月十日完工。鉄筋コンクリート三階建の〝白亜〟の庁舎は一階が無線課保全室、電池室、機械修理室、二階は所長室、庶務課、有線、無線課、三階が電信課自動交換機械室、電話交換室となっている。電信課には二台の短波無線送信機と四台の受信機など最新型の電信機が常置され、二階の自動交換機械室にはA型二百回線の自動交換機があって各署警察電話の一斉指令電話にも接続出来るようになっている。

▽**西岳無線中継所** 二戸郡一戸町小鳥谷字小繋の標高千米の山地に約一千八百万円で設置された十二坪の鉄筋ブロック造りの局舎には多重無線機やディーゼル発電機が配備されている。今まで県内には釜石署下の明神山、江刺署下の蓬莱山にしか中継所がなく、県北地帯には無線連絡が出来なかったが、その悩みも解消され、通信連絡に一大威力を増すことになった。

▽**機動隊宿舎** 盛岡市青山町の警察学校敷地内に建てられた本造平屋建の宿舎。屋根は亜鉛メッキ鋼でふかれ、二十六坪の小じんまりした住居が二むね並んでいる。

〔写真は完工した通信出張所〕

春場所新番付

若乃花は東の張出に

横綱陣、久しぶりに充実

春場所大相撲は九日を初日に十五日間大阪府立体育会館特設土俵で行われるが、恒例の新番付は一日朝相撲協会から次の通り発表された。

注目の新横綱若乃花が東に張り出されて、東の正横綱は千代の山、栃錦が西の正位に座って久しぶりに横綱陣は充実した感じ。続いて東は大関朝汐、関脇琴ケ浜、小結若前田となって堂々としたものだ。西方は大関松登、関脇に若羽黒、北ノ洋が三度目の小結に返り咲いた。先場所勝越し七の時錦が西小結に張り出されたのは予想通りだが三役陣に食い込んではかなり荷が重かろう。

前頭上位は東の筆頭は関脇から落ちた時津山、以下栃光、玉乃海、信夫山の順、西は小結から下った清水川をトップに復調の大内山がこれに続き、若瀬川、双ツ竜となって上位は栃光以外は東西とも古参力士が占めた。

新入幕は十両優勝の常錦（勝越九）と並ノ花の二人、再入幕は緋縅だけで、出羽湊（負越五）と白竜山（負越九）が十両へ陥落したのはやむを得ない。新十両は幕下全勝優勝の北葉山をはじめ、若杉山と若三杉の新進三人である。幕下以下では序ノ段優勝の山本（八戦全勝、出羽ノ海部屋、北海道）が九十一枚躍進して序二段目九十七枚目に上がったのが全力士を通じての出世頭。つづいては新小結時錦の実弟小松（序ノ口八戦全勝、時津風部屋、福岡県）で八十六枚はね上がって序二段三十八枚目に進出したのが目につく。年寄名は先場所限り引退した両横綱が一代年寄として現役名の通り吉葉山、鏡里を名乗り、十両だった那智ノ山が鯉崎、行司木村今朝三が[illegible]を継いだ。廃業力士は幕下以下で二十二人いる。

新横綱若乃花

小結北ノ洋

新小結時錦

＝東＝

地位	新	（旧）
横綱	千代の山	栃錦
張出横綱	若乃花	鏡里
大関	朝汐	若乃花
関脇	琴ケ浜	松登
小結	若前田	琴ケ浜
前頭	時津山	若羽黒
同2	栃光	清水川
同3	玉乃海	安念山
同4	信夫山	鶴ケ嶺
同5	大晃	潮錦
同6	出羽錦	羽島山
同7	羽島山	[illegible]
同8	海乃山	双ツ竜
同9	房錦	星甲
同10	鶴ケ嶺	三根山
同11	大起	海乃山
同12	潮錦	出羽錦
同13	星甲	房錦
同14	三根山	[illegible]
同15	及川	[illegible]
同16	常錦	[illegible]
同17	八染	[illegible]
同18	前ノ山	成山
同19	福ノ海	前ノ山
同20	[illegible]	芳野嶺
同21	小城ノ花	小城ノ花
同22	小野錦	小野錦

＝西＝

地位	新	（旧）
横綱	栃錦	吉葉山
大関	松登	千代の山
関脇	若羽黒	朝汐
小結	北ノ洋	時津山
張出小結	時錦	玉乃海
前頭	清水川	若前田
同2	大内山	北ノ洋
同3	若瀬川	岩風
同4	双ツ竜	若羽黒
同5	安念山	大晃
同6	[illegible]	時錦
同7	岩風	若瀬川
同8	大瀬川	信夫山
同9	鳴門海	栃光
同10	若葉山	大瀬川
同11	[illegible]	[illegible]
同12	国登	鳴門海
同13	成山	大起
同14	広瀬川	若葉山
同15	芳野嶺	及川
同16	泉洋	国登
同17	潟錦	八染
同18	宮錦	出羽湊
同19	鬼竜川	鬼竜川
同20	[illegible]	宮錦
同21	[illegible]	泉洋
同22	[illegible]	潟錦

地位	東 新	東 （旧）	西 新	西 （旧）
十両	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同2	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同3	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同4	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同5	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同6	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同7	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同8	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同9	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同10	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同11	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同12	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同13	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同14	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同15	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同16	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同17	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同18	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同19	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同20	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同21	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同22	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同23	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同24	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

〝水爆実験阻止しよう〟

A・A共同行動大会開く

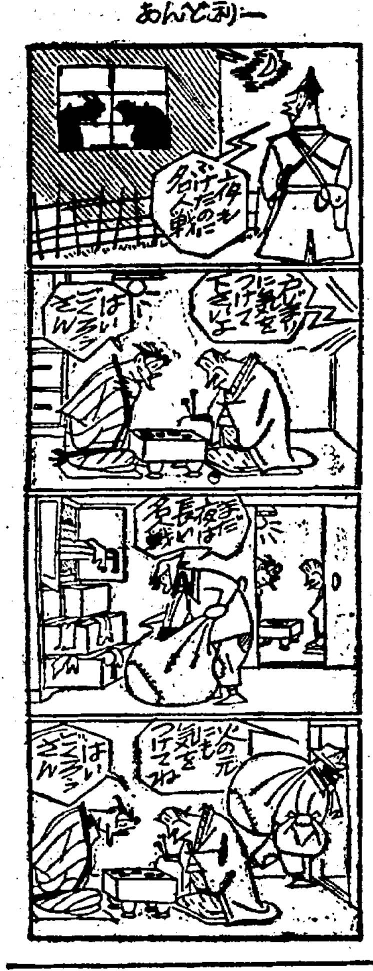
ビキニ被災四周年のきょう、原水爆禁止日本協議会（安井郁理事長）主催のエニウエトク水爆実験阻止アジア・アフリカ共同行動日本大会は、一日東京はじめ全国各地で行われたが、その中央大会は同日午後一時から東京神田の共立講堂で開かれた。「ビキニを忘れるな、エニウエトク水爆実験を阻止しよう」「アジア・アフリカ諸民族の独立運動と手をつなぎ、戦闘と原水爆をなくそう」など八項目のスローガンを掲げた会場には湯川秀樹博士、社会党委員長鈴木茂三郎氏、徳川夢声氏、ジャー駐日インド大使、二十八日夜来日したアルジェリア代表アブデルン・ライマン・キワン氏（アルジェリア民族解放戦線代表）はじめ労組員、婦人、学生など約三千人がつめかけた。このなかには医者のとめるのも聞かず重症の身を娘に手を引かれて上京した長崎県諫早市の原爆患者深田久市さん（五）の姿も見えた。またミサイル試射場設置に反対している伊豆新島代表の大沼正彦さんもかけつけた。

議長団に衆院議員風見章氏、総評議長原口幸隆氏ら八人を選出、ジャー駐日インド大使、エジプト大使（代理）の紹介に続いて自民党菊池義郎、社会党鈴木茂三郎、共産党袴田里見の各氏から政党代表のあいさつ、ついで安井理事長が「アジア・アフリカ諸国民と共同行動でエニウエトク水爆実験を阻止しよう」と報告をかねて提案した。漁民代表についで沖縄、新島、砂川の各基地代表があいさつ。このあとアブデルン・アルジェリア代表の大会支持のあいさつがあり次のような大会宣言と❶日本政府はアジア・アフリカ諸国と協力して原水爆禁止に努力せよ❷新島のミサイル基地化に反対する❸米国政府はエニウエトク水爆実験を中止せよ❹米国の抗議船「ゴールデン・ルール」号を支持する❺沖縄の原水爆基地化に反対する❻ソ連の水爆実験に抗議する。の六決議を採択、最後に湯川博士の記念講演〝人類の問題としての核爆発〟があって同四時すぎ散会した。

▽**大会宣言**（要旨）＝エニウエトク水爆実験は原子戦争につながる危険な企てであり、核兵器競争に拍車をかけて世界諸国民の安全をおびやかすものである。われわれは大会の名でこの実験に反対するとともにソ連および英国の水爆実験に反対し、米英ソ三国が原水爆実験の即時無条件禁止協定を結ぶよう要望する。また日本政府が核兵器競争をやめさせるためアジア・アフリカ諸国と協力して東西巨頭会談開催を呼びかけるよう要請する。

にたもの親子

あんどう利一



夜もふけたのに名人戦
気をつけてよ
はい ごくろうさん
まだ夜は長いぞ
火の元にも気をつけてね
はい ごくろうさん

二高校生含む窃盗団

盛岡署送致34件、たばこなど狙う

高校生二人を含む少年窃盗グループ五人が、一日盛岡署から送致された。同日朝までにわかった分でも被害額は三十数万円を越えており、余罪がかなりあるものとみられている。このグループは盛岡市松尾町レンガ工A（一九）同市八幡町菓子製造工B（一九）市内花屋町定時制高校三年生C（一七）市内三戸町自動車整備工D（一八）市内尾崎前実業高校三年生E（一七）で、昨年五月初旬から十二月末までに三十四件の盗みを重ね、おもにたばこ、バイク・モーターをねらっていた。

主なものをあげると▽昨年八月中旬市内木伏青果物商井上長八さん（四八）方からカン詰四十個（一万二千円相当）▽同日午前二時ごろ市内本町食料品店浅沼カツさん（六）方から清酒十本（五千円相当）▽九月十三日夜市内新築地沢藤恵子さん（四七）方からピース百四十五個（七千四百六十円）ウイスキー小ビン二十本（五千八百円相当）▽九月二十九日夜市内紺屋町平野春兵さん（二）方から新生、光などたばこ三百二十五個（一万二千五百円相当）▽十月十二日夜市内大工町村田レンさん（三九）方からピース、光などたばこ二百八十四個（一万五千円相当）▽十月末市内油町雑貨商立花留太郎さん（六〇）方からたばこ百十二個（五千三百円相当）▽十二月十一日市内新馬町印刷業阿部正美さん（三七）のバイク（一二万円相当）▽同日市内十三日町阿部ミツさん方前にあったバイクモーター（一万円相当）▽同月十二日夜市内大通り二丁目上田商店前から市内館坂医師竹内正一さん（三）のスクーター（十万円相当）などである。

このグループは大胆にも深夜カギをこじあけたり、ガラス戸を破って侵入しており、市内下小路で一人暮しをしている七十七歳の老婆宅をアジトにして計画的に盗みを働いていた。盗品は売りさばいて遊興費にあてていたが、金に困ってはあちこちで数件の無銭飲食もしていた。

タクシーはねる

二十八日午後十時十五分ごろ盛岡市生姜町で宮町方面に向けて走っていた同市菜園盛岡タクシーのハイヤー＝日米昭夫運転手（二）＝が、前から来た同市十三日町歯科医菊池康夫さん（三）をはね、顔や腕に全治一週間の打撲傷を負わせた。

ブレーキ故障 自転車はねる

二十八日午後三時十五分ごろ盛岡市大通り三丁目で、盛岡駅に向かって走行してきた市内内丸タクシー会社のハイヤー＝小笠原与次郎運転手（三）＝が、ブレーキの故障から前から自転車に乗ってきた市内生姜町バー「クラウン」のバーテン加藤浩さん（三）をはねとばし、右足骨折二週間の傷を負わせた。

山口大学長に 兼重東大教授

【山口発】山口大学学長松山基範氏の死去による学長選挙は二十八日投票、東大工学部教授兼重寛九郎氏（五）が当選した。山口県出身。大正十年東大機械科卒、昭和十七年東大教授となり、日本学術会議副会長、航空技術審議会会長、原子力委員会委員などをつとめている。

呼び出して夫婦殴る

釜石署は二十八日釜石市甲子町小佐野三三ノ八九無職小川太門（三）を暴行の現行犯で逮捕した。小川は午後十一時ごろ同市甲子町小佐野文化劇場で映画をみていた同市甲子町小佐野三三ノ八九焼きイモ屋菅原利三さん（三）と妻のキネノさん（三）の夫婦を呼び出し「いままでオレとお前らは共同で焼きイモ屋をやっていたのに、お前らばかりで売りに出たのはけしからん」と二人の顔をなぐりつけたもの。

屋根こがす

一日午後零時ごろ盛岡市菜園高砂町一〇無職畠山ヨヨさん（三）方のマサ屋根に火がついたが、発見が早く一坪ほどをこがしただけで消し止めた。盛岡署の調べで煙突の飛火とわかった。損害千円。

花巻で四むね焼く

一日午前四時ごろ花巻市矢沢一二地割八四ノ一農中島福治さん（三）方のフロ場から出火し、フロ場と小屋など非住家三むね、住家一むね、計二十八坪を全焼した。花巻署の調べによるとフロ場の残火の不始末らしく損害五十七万円。

宮古市でボヤ三件

二十八日夜宮古市内で三件のボヤがあった。▽二十八日午後五時二十分ごろ宮古市八幡沖宮古機関区ボイラー室から出火、腰板二坪をこがして消し止めた。ボイラーの過熱からで損害九百円▽同八時三十分ごろ同市八幡沖雑貨商高橋庄三さん（五〇）方物置から出火、発見が早くカンナくずを焼いただけで消し止めた。原因はおかりにつかったマッチの不始末▽同八時五十六分ごろ同市本町ミシン販売業佐藤均さん（三）方台所から出火、腰板をこがした程度で消し止めた。石油コンロの不始末から。

十六支部で一斉総決起大会

勤評阻止の岩教組

勤務評定阻止闘争について岩教組は二十八日拡大闘争委員会を開き八日の県下一斉総決起大会の実施要項を決めた。同大会は総評の春季闘争全国統一行動の一環として実施するもので、同日は午後二時から原則として県下十六支部十六ヵ所で開き、勤務評定実施反対をはじめ、文教予算増額、反動文教政策粉砕についても討議する。

ほお紅潮させて

若人、元気に巣立つ

千厩高と岩高

○…三月は卒業式のシーズン。そのトップを切って一日、県立千厩高校と私立岩手高校で卒業式が行われた。

○…岩手高校では午前十時から同校講堂で行われ、百三十一人が巣立った。卒業証書授与、山中校長のはなむけのことば、来賓の祝辞があって「仰げば尊し」「ホタルの光」の合唱のころには送られる者たちは感激にほおを紅潮させていた。〔写真は祝福されて巣立つ岩高卒業生〕

遭難はぼ確実

憂いにくれる毛糠さん宅

二十六日夜の無電を最後に流氷の北洋で消息を絶った八戸市小中野中村武夫さん所有第十五久栄丸（七十一㌧）の、遭難はほぼ間違いないものとみられている。船主の話によると同船は二十四年に建造されたトロール船で、八戸港でも指折りの優秀船だった。乗組員も同船に長年乗ってきたベテランぞろいで、操船技術もすぐれていたという。最後に連絡があったのは二十六日夜九時ごろ「これから千島方面に向かう。波浪あり。かなりに大きな流氷群に悩まされている」との無電だった。その後連絡は絶えたが無線機の故障で連絡できずにいるのではないかとの一るの望みを託していた。

同船に機関長として乗り組んでいた九戸郡種市町小子内毛糠徳次郎さん（三）の自宅には急報でかけつけた親族たちや近隣の人々がごった返し万一を期待しながら夜通しで情報を待ったが、それもむなしく一家は憂いに閉ざされている。

毛糠さんは二十四年同船の建造とともに操機長として乗組み二十六年から機関長となった。それ以前も遠洋漁船に乗組んでいた生っ粋の海の男だけに家人たちも遭難は信じられないと考えていた。ことに妻トキさんに抱かれて物々しい周囲の様子を見守る絹子ちゃん（二）の姿が痛々しく、長女カズ子ちゃん（七）長男徳明ちゃん（四）が心配げに母親にまつわる姿が人々の同情をひいている。

トキさんの話 二十三日入港したからと帰ってきた。一泊しただけで深夜また出かけて行きました。無線機はついているので毎晩情報は聞いていましたが、二十七日からはばったり途絶え心配していたところです。

一方、親族たちや近所の人たちも「船は八十㌧の八戸一の優秀船だし、仮りに遭難してもS・O・Sぐらいは打ってくるはずなのに、全然連絡がないのは風浪と流氷で一気にやられたのではないだろうか。何とか無事でいてほしい」と語っていた。

三隻いぜん消息不明

【釧路発】二十六日から二十七日にかけて千島海域を襲った大シケで消息不明となった釧路市柏浦千代蔵氏所有底引漁船第二彌彦丸＝五七㌧、幸村幸吉船長ら十四人乗組＝八戸市関沢幸作氏所有第五明栄丸＝六四㌧、十三人乗組＝八戸市中村武夫氏所有第十五久栄丸＝七一㌧、十五人乗組＝三隻の行方について、釧路海上保安部巡視船〝とかち〟が捜索に当っているが二十八日午後八時現在手掛りを得ていない。

これらの漁船はシケに十分耐えられるだけの準備ができており、また二十六日消息を絶った根室市のタラ漁船が二十八日無事帰港している例もあり、まだ遭難と断定できないと同保安部ではいっている。

副委員長に工藤氏

全電通県支部で選任

全電通県支部（組合員千七百人）の第十五回委員会第二日の二十八

夜のラジオ番組

ラジオ岩手　1日（土）

5.30 劇 高丸菊丸30沢田賢二作 桝谷一政外
6.10 劇 トモ子捕物控
30 パリの旅 山岡久乃
7.00 政府の窓 録音構成「白き鉄路の闘い」
30 素人ジャズのど自慢 司会 丹下キヨ子
8.00 愉快なトリスバー「素的なあなた」外
30 素人うた合戦 司会 稲川英雄アナウンサー
9.00 日立グランド劇場 徳川夢声 若山彰外
45 夢のダンスパーティ

NHK第一

6.20 私たちの音楽会 QG
45 伸びゆく若葉QG劇団
7.15 録音ニュース
30 土曜の夜のおくりもの
9.05 ニュース解説 崇瀬五郎
15 浪曲
45 男の一生 女の一生

NHK第二

6.25 私たちの演奏会
7.00 映画音楽解説 清水光雄
30 若い世代へ世界の旅人
8.05 科学談話室 小熊捍
30 今日の原子力
9.00 ラジオリサイタル
1000 高校講座初級数学QG

スキー場だより　1日

（午前6時・盛鉄局調べ）

	天候	気温（一）	積雪量（糎）	○適×不適
八幡平	晴	13	三七〇	○
田山	〃	11	一〇〇	○
竜ヶ森	〃	13	一二五	○
花巻温泉	〃	5	一五	×
鉛	〃	8	四五	○
湯本	〃	12	一二〇	○
大沢	〃	12	一三〇	○
白木野	〃	9	一〇〇	○
物見山	〃	7	二〇	×

天気予報

【内陸・沿岸】一日は南寄りの風曇りでにわか雨かにわか雪が降る。二日は南後北西の風、一時やや強く曇りで、時々にわか雪かにわか雨あるが、沿岸地方は次第に晴間多くなる。

県下の交通事故

▽二十八日の事故　三件
死者　ナシ
傷者　四人
▽一月からの累計　一六〇件
死者　一〇人
傷者　九三人

趣意

昭和八年三陸大津波の苦難と共に、当地方唯一の男子中等学校として誕生した釜石商業高等学校は、四半世紀の歴史を刻し、本年創立二十五周年を迎えました。時恰も県において旧校舎改築の議が決定され、われら同校関係者はこの機会に同窓会館の建設を目指し総額五百万円におよぶ計画（一、校地拡張整備 二、図書館、柔剣道場整備 三、教育備品増強）を樹立し一に同校のためのみならず、当地方教育文化向上のため全力を傾注して、これが達成を期しております。就きましては、何卒格別の御後援を御願い申上げます。

昭和三十三年三月一日
岩手県立釜石商業高等学校
PTA会長 矢沢悦郎
同窓会長 吉田豊

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。